

き ら り

vol.23
2020年3月



巻頭言

重要度をまず地域医療連携 ……………2

診療ドクター紹介 ……………6

連携医紹介 ……………7

連携室ニュース ……………8

特集 3-5

患者支援センター 地域医療連携

～地域の医療機関との懸け橋に～

重要度をます 地域医療連携



理事（兼）副院長（兼）手術部部長（兼）
がん集学的治療センター長（兼）
がん相談支援室 室長（兼）
外科 主任科部長（兼）
消化器外科 主任科部長（兼）
患者支援センター長

かね だ く に ひ こ
金田 邦彦

国は2025年をめどに各医療圏における病床の機能分化・連携を進めるために地域医療構想を策定しました。当院のある東播磨医療圏でも各医療機関の役割を明確にすることで適切な医療資源の配置が求められています。国の目指すところは簡単にいうとそれぞれの医療圏域において救急や手術などの急性期医療を担当する医療機関、回復期、慢性期を担当する医療機関、最終的な看取りが必要になった場合に在宅医療を提供できる医療機関を明確にしてこの地域全体で住民の医療を支える体制を作りなさいということです。

このような地域医療構想の枠組みの中で、今後途切れのない医療を円滑に継続していくためには、ますます各医療機関の連携が重要となってきます。現在、主だった医療機関にはそれぞれ地域連携に関連する部署が設置されており、お互いに顔の見える関係が構築され地域の医療を支えています。

当院の地域連携室は、患者支援センターの中にある3室体制（入退院支援室、在宅医療支援室、地域連携室）のひとつとして運営しています。看護副部長を室長として、看護師2名及び事務職10名で構成しています。主な業務は、地域とのスムーズな連携をはかれるよう、医療機関からの紹介予約を担当しています。さらに適時各医療機関を訪問して当院に対する要望や苦情をお伺いし、連携強化に努めています。また当院での治療が終了し病状が安定した患者さんには、地域の医療機関の先生方のもとで治療を継続していただけるよう、逆紹介を進めています。

今後、超高齢化社会を迎えるにあたりこの部署に期待されることは、医療と介護の間にある壁を取りはらうことにあると思われます。「時々入院ほぼ在宅」を実現できるように医療と介護の間に隔たりを少なくする必要があります。当院のような地域の基幹病院が行政と相談しながら、医療と介護をつなぐ研修会等を開催して、より関係機関の間で密接な関係が築けるように努力したいと考えております。

患者支援センター

1

患者支援センター
Patient Assistance Center
検査説明窓口 / 入院支援窓口
Inspection / Consultation / Hospitalization Support Service Consultation
患者相談窓口 / がん相談窓口
Medical Consultation / Cancer Consultation

地域の医療機関の皆様には平素より大変お世話になっております。

患者支援センターは、2018年度より「地域連携室」「入退院支援室」「在宅医療連携室」の体制で運営しております。地域の皆様とスムーズな連携ができるよう当院の窓口を担っております。そのため、患者支援センターでは、まずはセンター内の各室間の連携強化に努め、情報共有や学習会など実施し、地域の皆様からのお問合せやご相談に速やかに対応できるように頑張っております。また、地域の医療機関の訪問や研修会などを通して、地域の医療機関の皆様と顔の見える関係づくりを構築し、シームレスな医療・看護・介護の連携を進めていきたと思います。

今後も皆様から信頼され、身近な存在となる患者支援センターを運営してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

患者支援センター 副センター長（兼）入退院支援室 室長（兼）
在宅医療支援室 室長（兼）地域連携室 室長

猿渡 かおり



患者支援センターの職員は、看護師18名、理学療法士1名、MSW14名、事務員16名が所属し、チーム医療の担い手としてそれぞれの専門性を発揮しています。入退院支援室においては、入院前から患者さんの退院後の療養先の希望を聞き、入院後は病棟看護師や医師、PT・ST・OT、管理栄養士、薬剤師と連携しながら退院支援・調整を行っています。また、在宅医療支援室では、患者さんが安心して在宅療養できるよう医師やメディカルアシスタントと協力しながら外来での療養相談や退院前訪問指導・退院後訪問指導に取り組んでいます。地域連携室では、地域医療機関からの受診予約をスムーズに行い、地域医療機関の診療のバックアップができるよう努めています。患者支援センターは、これからも患者さんを中心として院内は勿論のこと、地域の医療機関・医療職の皆さんと地域におけるチーム医療を進めていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

入退院支援室 副室長（兼）在宅医療支援室 副室長（兼）
地域連携室 副室長

北野 由起恵

多職種連携の強化 ～リハビリスタッフの参入～



2019年10月より理学療法士1名が患者支援センターのメンバーとなりました。

理学療法士は、退院後担当される看護・介護スタッフと共に退院前訪問に同行し、患者さん・ご家族が安心して退院後の生活を送っていただけるよう、より具体的な生活様式や家屋環境を把握し支援しております。

今後は、入院前のADL評価やリハビリ指導などにも活動範囲を広げ、早期退院に向けて他職種と共に取り組んでいきたいと考えております。

理学療法士

三枝 秀明

地域医療連携

～地域の医療機関との懸け橋に～



入退院 支援室 (入院支援)

入退院支援室(入院支援)は、全診療科の予定入院の患者さんご家族に、看護師が面談を行い、安心して入院加療が受けられるよう不安や質問にお答えしています。薬剤師、栄養士及び専門・認定看護師等と情報共有を行い、患者さんの入院を多職種・多方面から支援しています。

また入院前より、退院後には住み慣れた地域へ早期に戻れるよう、入院前の生活の様子を聴き取り、病棟看護師や退院支援職員と情報共有し、院外のケアマネージャーの方々と連携を図っています。また、他院入院中の患者さんの転院受入れを担当しています。



入退院 支援室 (退院支援)

入退院支援室(退院支援)は、入院中の患者さんやそのご家族に対し相談援助を行っています。入院された患者さんやそのご家族は、計り知れない不安の中で治療が進んでいきます。少しでも安心して治療を受けることができるよう早期に介入し、できるだけ「身近な存在」として今後のことを相談させていただきます。地域他機関・他職種の皆様には、ただ“つなぐ”ことを目的として相談を行うのではなく、患者さんご家族の想いをしっかりと傾聴し、“その想いをつなぐ”ことを大切にしています。そして、患者さんが住み慣れた地域で生活できるよう、患者さんやご家族を支える一員として、地域の医療関係者の皆様と一緒に考え、密な連携を行っていきたくと考えております。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。



在宅医療 支援室

在宅医療支援室は、外来通院中の患者さんが適切な社会資源を活用しながら、地域で療養できるよう支援しています。

症状が安定している患者さんには、かかりつけ医のご紹介や紹介元の医院・クリニックへの移行がスムーズに行えるよう支援しています。

また、当院入院中の患者さんが、在宅での療養を希望された際には、安心して退院できるよう退院前訪問や退院後訪問を実施し、自宅のベッドサイドで申し送りを行い、地域の医療関係者の皆様と連携を図るようにしています。そして「ときどき入院、ほぼ在宅」を目指しています。



地域連携室

地域連携室は、地域医療機関からの受診の予約や紹介の窓口となっています。「FAXによる診療予約」と「インターネットによる診療予約」を行っておりますので、是非ご利用下さい。ご紹介頂いた患者さんが、安心して受診していただけるよう地域医療機関の先生方とのスムーズな連携を心がけています。そのため、地域医療機関への訪問を実施し、ご意見をお伺いするなど連携強化に努めています。

訪問時にいただいたご意見を真摯に受け止め、院内にフィードバックすることで、より信頼される病院へと成長するよう、改善に努めています。

診療ドクター紹介

当院の診療担当医師を紹介いたします。
ご紹介頂く際にご参照ください。

■ 総合内科

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 総合内科

検索



本年度も、スタッフ3名にて外来入院診療を行って参ります。臓器別にとらわれない診療はもちろんですが、患者さんの病状に応じて各臓器別診療科と共同した診療を行って参りますので、安心してご紹介下さい。

総合内科 主任科部長(兼)
教育支援センター 副センター長

金澤 健司

(かなざわ けんじ)

[資格等]
日本内科学会総合内科専門医・指導医
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医
日本病院総合診療医学会認定医
日本循環器学会認定循環器専門医
JMECC(日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会)ディレクター
日本救急医学会認定ICLSディレクター
日本内科学会近畿支部評議員
厚生労働省認定臨床研修指導医
医学博士



総合内科では、臓器別では考えにくい症例、診断に難渋しておられる症例、どの診療科に紹介してよいかわからない症例など、お困りの症例につきまして、当院内科の広い窓口として外来・入院診療を行っております。目の前の患者さんにとって最も望ましい医療を提供できるよう、専門診療科と一緒に責任を持って診療致しますので、まずはご相談ください。

総合内科 医師(嘱託医)

高橋 佳子

(たかはし よしこ)

[資格等]
日本内科学会総合内科専門医
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医
日本静脈経腸栄養学会・日本外科代謝栄養学会認定
NST医師教育セミナー終了
厚生労働省認定臨床研修指導医



週1回外来診療を担当しております。

患者さんの話を丁寧に伺い、診察、検査と合わせ、適切な診断を導くこと、また複数の症状や疾患を有する患者さんに対しては、診断、治療の順序やバランスを考えることにも努めております。

地域の先生方に御指導、御協力頂きながら、患者さんのニーズに合わせた最適な医療を提供することを目指しています。宜しく願いいたします。

総合内科 専攻医

東目 亜湖

(ひがしめ あこ)



当院総合内科では他院からの紹介例だけではなく、院内での対症例も含め、様々な方の診察・入院管理を行っています。

症例内容は多岐に渡り、軽症例から重症例まで、また高齢化に伴い複数疾患を抱える方が増加している背景から、院内の他科の先生方御協力の元、臓器横断的な診療を行ない、また患者さんが抱える複合的な問題にも一人一人真剣に取り組んでいます。

お困りの症例などがございましたら御紹介頂けます様、よろしくお願い致します。

入院診療実績(2018年1月～12月) 254例内訳

(件)

感染症(腎盂腎炎、肺炎、蜂巣炎、敗血症性ショック、胆管炎等)	155
その他(脱水、横紋筋融解、骨折等)	28
内分泌、代謝性疾患(低Na血症、低K血症、副腎不全等)	17
感染症以外の神経疾患(失神、脳出血等)	11
アレルギー膠原病疾患(アナフィラキシー、血管炎等)	11
血液疾患(貧血、血液悪性腫瘍等)	10
感染症以外の腎疾患(慢性腎不全、尿路結石等)	7
感染症以外の消化器疾患(出血性潰瘍、悪性腫瘍等)	7
感染症以外の循環器疾患(心不全等)	6
感染症以外の呼吸器疾患	2

外来診療実績(2018年1月～12月) (人)

新規外来受診者数	1,350
----------	-------

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

中田医院 [診療科：内科／脳神経内科]

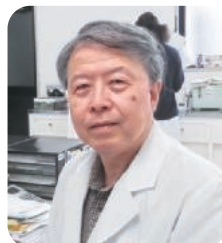
JR東加古川駅徒歩3分(南西)新在家公園北で開業しています中田医院の中田邦也です。約60年前(父、私、子3代)から当地でかかりつけ医として、地域医療に従事しています。現在、生活習慣病の管理を中心に、種々の体調不良、訪問診療等積極的に診療しています。特に、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、肝臓病、在宅療養等の患者様を多く看させて頂いています。また脳神経内科外来、物忘れ外来などの専門外来も予約形で診療しています。現在、医師4人、看護師5人、受付事務スタッフ7名で診療しています。

加古川中央市民病院のほとんど全科の先生方とスタッフの方々に24時間365日いつも連携していただき心より感謝しています。

今後もスタッフ一同、加古川中央市民病院とともに地域に根差した診療を行っていきたくと考えておりますので、ご指導よろしくお願い致します。

所在地：加古川市平岡町新在家3丁目286-5
駐車場台数：20台

TEL.079-422-3720



院長 中田 邦也 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
【内科】午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
【内科】午後 16:00~18:00	○	—	○	—	○	—	—
【脳神経内科】午前 9:30~12:00	○	—	—	—	○	第2・4	—

石島耳鼻咽喉科医院 [診療科：耳鼻咽喉科]

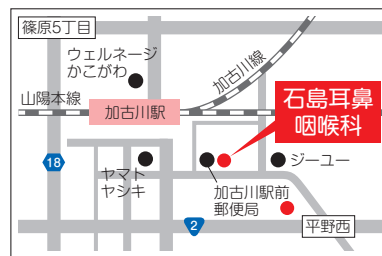
令和2年1月から、縁あって山村耳鼻咽喉科医院を継承し、石島耳鼻咽喉科医院を開業いたしました石島 健と申します。日本医科大学を卒業後京都大学耳鼻咽喉科に入局し、その後、豊岡市、静岡市、浜松市などで耳鼻咽喉科臨床全般を学びました。米国留学後は岩手医科大学附属病院、福井赤十字病院において耳科手術、頭頸部がん治療を中心にやってまいりました。医院名と院長名は変わりましたが、スタッフや診療方針は変わらず、現在も耳鼻咽喉科一般の診察を行っており、特に末梢性めまいや感音難聴の診断や治療を行っております。めまいの診断では神経内科や循環器内科の先生方との連携が必要となりますし、MRIなどの画像診断が必要となることもありますので、加古川中央市民病院の先生方のお力をお借りできれば幸いです。今後、専門医としての知識や経験を生かしてより良い地域医療を目指していく所存ですので、何卒宜しくお願い致します。

所在地：加古川市加古川町溝之口778
駐車場台数：8台

TEL.079-422-2829



院長 石島 健 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	—	○	○	—	—
午後 15:30~19:00	○	○	—	○	○	—	—
午前 9:00~13:00	—	—	○	—	—	○	—

2020年度 地域連携会議のご案内

2020年度地域連携会議の日程及び開催場所が決定いたしました。多数の皆様のご臨席を賜りますようお願い申し上げます。

日時 2020年5月28日(木) 17:00~20:00

場所 加古川プラザホテル

学術講演会、当院の診療紹介及び意見交換会の3部構成を予定しています。

会議の詳細及び出欠のご案内につきましては、3月下旬頃に発送予定です。どうぞ宜しくお願い致します。

今後の
スケジュール

3月下旬頃

地域連携会議の
ご案内送付

4月下旬

出欠の〆切

5月初旬

出席者へ当日の
ご案内送付

5月28日

地域連携会議
開催

今年のノベルティは？



マグネット



ライト付きルーペ

?

どうぞ期待！



学術講演会と意見交換会を予定しています。多数のご参加をお待ちしております。



2020年4月よりバトンタッチします。

2017年度より患者支援センター副センター長として、地域の医療機関の訪問や会議・研修など参加させて頂きました。今まで大変お世話になり、ありがとうございました。

今後は看護部副部長として、地域包括ケアシステム構築に努めていきたいと思っております。

患者支援センター 副センター長
猿渡 かおり



猿渡副センター長から引き継ぎ、新しく副センター長に着任いたします「松永みゆき」でございます。2020年度より病院と地域をつなぐ患者支援センターで全力を尽くして参ります。

よろしく願いいたします。

2020年4月新任
患者支援センター 副センター長
松永 みゆき



地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

患者支援センター地域連携室

予約専用 TEL.079-451-8651 / FAX.079-451-8653

その他 TEL.079-451-8652 / FAX.079-451-8654

http://www.kakohp.jp/medical_person/

